

第56回「グループホームたなお」運営推進会議議事録

日 時：令和8年7月25日（土）14：00～15：00

場 所：グループホームたなお

出席者：ご家族6名、高齢介護課1名、生田市議会議員、GH職員1名、管理者

1. 前回会議からの運営状況について（5月23日～7月24日分）

1）入退居について（7/24日現在）

- ・入退居者 : 退去者0名、入居者1名（希望の華：男性1名）
- ・待機状況 : 待機者11名（男性2名、女性9名）
※前回会議より新規申し込み1名
※保留中の方6名
- ・入居者数 : 18名 夢の華 : 9名（男性0名・女性9名）
希望の華 : 9名（男性1名・女性8名）
70代…2名 80代…5名 90代…10名 100歳以上…1名
平均年齢 : 89.2歳（77歳～100歳）
平均入居日数 : 1,481.3日（39日～3,319日） ※5年以上6名
介護度 : I…10名 II…3名 III…4名 IV…0名 V…1名 平均介護度 : 1.8
- ・月間稼働率 : 5月…96.6% 6月…97.0%

2）職員の異動について

- ・入退職者 : なし ※7月末特定技能実習生1名退職予定
- ・産休職員1名（特定技能実習生）
現在 常勤職員 : 12名（正規職員10名）、非常勤職員5名
※特定技能実習生 計5名（インドネシア4名、フィリピン1名）
※その他外国籍職員 ブラジル2名、フィリピン1名

3）事故・急変・医療連携等について

★事故・ヒヤリハット

・ヒヤリハット

転倒2件、転落2件、離脱1件、服薬ミス1件、その他4件 計10件（前回比－4件）

※転倒

- ・居室で臥床中センサー鳴り、スタッフが訪室するとすでに立って動き始めていた
- ・入浴時脱衣室から浴室へ移動しようとし、体の向きを変えた際にふらつく

※転落

- ・入浴介助時シャワーキャリーのフットレストに足を乗せようとした際、臀部が滑って
ずり落ちそうになった
- ・リビングのリクライニングソファーにて座っていた際に、ずり落ちそうになっていた

※離脱

- ・スタッフが他利用者の介助中に、一人で外へ出て行ったのを、他入居者が教えてくれ
ホーム前の駐車場に居る所を発見

※服薬ミス

- ・外泊時にお渡しする薬が違ふ方の薬を渡してしまった。ご家族が気づき交換する

※その他

- ・散歩に出掛けた際、シルバーカーを押していたが、シルバーカーの両サイドロックが外れていた
- ・一人で散歩に行かれた方が、道路を斜め横断していた、道路中央を歩いていた等 3件
一人で別のテーブルの席に移動していた（一人ではふらつき強く、転倒繰り返している方）
- ・洗濯物を持って居室に戻られる際、新しいスリッパが突っかかり転びそうになる

・事故発生状況

転倒 1 件、転落 2 件、離設 1 件、骨折 1 件、異食 1 件、服薬ミス 7 件

計 13 件（前回比+9 件）

※転倒

- ・ポットのお湯を入れようとしてポットを持ったところ、下の引き出しがスライドして尻もちをついた

※転落

- ・夜間巡回時ベッド下の床に倒れていた ⇒赤外線センサーを設置にて対応
- ・椅子に座ったまま床のゴミを拾おうとして、椅子ごと倒れる

※離設

- ・職員が気づかない間に一人で散歩に出掛けていた。車で迎えに行き毘沙門で発見

※骨折

- ・起床時に右手首の痛みを訴え病院受診すると骨折していた。受傷状況不明

※異食

- ・テーブルの上に飾ってあった花瓶の花を口に入れてしまった

※服薬ミス

- ・食事前の食前薬を内服し忘れ食後薬と一緒に内服する
- ・内服した薬が翌日の薬だったことに、内服介助後に気づく
- ・床に薬が落ちているのを発見 4 件、居室ゴミ箱に捨ててあるのを発見 1 件
⇒服薬介助に関して服薬介助マニュアルを再度周知徹底し、会議にて注意喚起を行った

※急変・医療連携等

- ・救急搬送 : 2 回（血圧低下を伴う一過性の意識障害、血圧の低下・不整脈）
⇒入院なくそのままホームに戻ってきている
- ・盛田歯科訪問診療 : 4 名
- ・訪問看護（笑福） : 週 1 回
- ・特定健康診断 : 6 月より随時実施中
- ・コロナ、インフル、ノロの陽性者 : スタッフ、利用者共になし

4) 身体拘束・虐待防止について

- ・身体拘束、虐待防止のガイドラインに設定されている事項については該当なし

5) イベント関係について

- ・ホーム内イベント : わんとほーむ(動物介在)、BBQ
- ・個別外出 : 菖蒲の花見、紫陽花の花見、碧南水族館見学
ケアラズカフェれんげ草 10 周年参加、その他個別外出

☆イベント、普段の様子についてはパワーポイントで

6) 研修参加状況

オンライン法定研修参加(5月~6月分)

- ・5月 高齢者虐待防止法を含む虐待防止研修
- ・6月 接遇研修
- ・6月 事故発生又は再発防止研修

階層別研修

- ・介護実践力基礎コース
 - 5月「報連相の基本と実践」
 - 6月「チームで支えるコミュニケーション」
- ・次世代リーダースキル学習コース
 - 5月「リーダーシップの基本理念と自己認識」
 - 6月「聴く力：信頼を生むコミュニケーションの基本」
- ・成果に繋げるチームリーダー実践コース
 - 5月「メンバーの成長を支える関わり方」
 - 6月「チームの信頼関係をつくる」
- ・管理者の為の組織マネジメント実践コース
 - 5月「マネジメント職に求められる役割と視点」
 - 6月「チームマネジメントとリーダーシップ」
- ・研究活動継続支援プログラム参加

7) 行政・地域・関係機関との連携

- ・オレンジフェスタ実行委員会出席 ※11月に臨海公園にて開催
- ・棚尾自主防災会議出席
- ・認知症介護指導者大府ネットワーク総会出席
- ・全国認知症介護指導者ネットワーク社員総会出席
- ・日本福祉大学実習報告会参加
- ・労働基準監督署定期調査訪問受け入れ ※職員の健康診断については是正勧告を受ける

講師派遣

- ・認知症介護実践リーダー研修講師
- ・認知症介護実践者研修補助講師
- ・介護労働安定センター 介護人材コンサルタント個別相談 2法人

8) 今年度の棚尾地区防災訓練について

- ・令和8年11月22日(日)8時30分 南海トラフ地震 震度7が発生想定
地震発生直後愛知県外海及び伊勢・三河湾に「大津波警報」が発表
- ・棚尾地区としては棚尾小学校体育館にてFMBの指示に従い、避難所開設訓練実施
- ・源氏町町内会長・部長の方には「グループホームたなお」へ来て頂き、一緒に棚尾小学校へ避難する訓練を実施予定(天候により利用者の参加を中止する事もある)
※詳細は別紙参照
- ・ご家族の方も一緒にご参加いただける方はぜひ一緒にご参加を頂きたい
- ・実際の津波警報が出た場合は、まず妙福寺へ避難し、その後棚尾小学校へ避難予定
今回の訓練では、避難経路の確認ではなく、地域との連携の確認を行う
- ・実際棚尾小学校に避難することになった場合、まずは棚尾小学校体育館へ避難
その後、体育館内での滞在が困難な場合、棚尾小学校の特別教室が、要配慮者のスペースとして確保される予定がある事を確認している。(GH利用者が対象となるかは分からない)
- ・ホームで備蓄している水を使わない非常食を小皿に分け、試食会ブースを当日担当させてもらえるように調整中。実際には利用者の方が地域の方へお皿を手渡すなど、交流を図れる機会にしたい。また、障害児の家族の方などとも連携できればと考えている

9) その他、意見交換

- ・ヒヤリハットで、散歩時の道路の真ん中を歩いていたとあつが、誰かから声を掛けられたのか?
⇒現在散歩に出かけるが一人ではなかなかホームに戻れない為、GPSで確認し大通りのホーム看板のあるお地蔵さんの曲がり角まで迎えに行き、声を掛けてホーム方面へ曲がって戻ってきてもらっていたが、道路の真ん中を歩くなど事故の危険が高くなってきたので現在は、川沿いの東屋の曲がり角で声を掛け、一緒に戻ってくるように、少し散歩コースを短くして対応している。(暑さもある為)
- ⇒家族の方からも以前散歩をやめた方が良いかとの相談もあったが、いずれ行きたくても身体機能の低下などから行けなくなる時期が来ると考えられる為、現在行ける間は安全に配慮しながら散歩を続けられるように支援している
- ・棚尾小学校まで歩いてどのくらいかかるか?
⇒歩くと30分程かかる、一度ではいけない為、ピストンをしながら誘導することになる
小学校まで歩ける方は多くて6名、最初から車椅子が必要と考える方が6名
シルバーカーなどで途中までは自己にて歩いてもらい、車椅子介助の方を速やかに避難させた後、車椅子から降りてもらい空いた車椅子をもって職員が戻り、途中から車椅子に乗ってもらい避難するなど想定している
※現在ホームには本人持ちの車椅子含め、車椅子7台、シャワーキャリー2台
シルバーカー(本人持ち含め)8台
※訓練では小学校へそのまま避難するが、実際には川沿いは危険な為、一旦毘沙門天へ避難し、全員毘沙門天へ避難した後、地域の方などの協力も貰いながら、最終的に

小学校へ避難を考えている。ホームから大通りに出るまでが、道が細く両サイドにブロック塀も多いため、倒壊した場合に大通りまで出るのが大変になる可能性は考えている

- ・ 事故・ヒヤリに対応する職員は大変だと思うが、現在何名でどのように対応しているのか
⇒ 現在職員はパート職員含め 17 名、事故やヒヤリハットは報告書を基に毎月の会議やリスクの委員会で対策を検討している。また、虐待や身体拘束に該当するような事例がないかも確認をしながら取り組んでいる
また、事故が起きた際には見守りカメラ（廊下・リビング）で確認するなどしてなぜ起きたのかを該当した職員も含め一緒に確認をしている

- ・ 次回会議は管理者が他の研修と重なっている為、介護主任が担当する

次回運営推進会議 9 月 26 日（土）14：00～

令和 8 年 7 月 2 4 日

棚尾地区防災訓練へのご協力をお願い

棚尾地区、源氏町内会の皆様

猛暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

棚尾地区・源氏町の皆様には、日頃より地域福祉の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、棚尾地区防災訓練の一環としてグループホームたなおの入居者が地域の皆様と一緒に避難する訓練を実施したいと考えております。

当ホームには認知症のある高齢者の方が生活されており、災害時には職員だけで安全に避難することが難しい場面も見据え、地域の皆様と顔の見える関係を築きながら、どのような支援や連携が必要かを一緒に確認する機会としたいと考えております。

昨年は、職員 2 名で入居者 6 名を避難所である小学校の正門まで誘導し、正門から体育館までは地域の皆様にご協力をいただき、無事訓練を終えることができました。

今年はさらに一歩進め、町内会長様はじめ、各部長の皆様にもグループホームまで起こいただき、ホームから避難所までを一緒に歩いて避難する訓練を実施したと考えております。

訓練では、実際に高齢者と歩いたり、車椅子を押していただくことで①どのような声掛けが必要か②どこに危険個所があるか③どのような支援があれば安心して避難できるか、などを地域の皆様と一緒に考える機会にしたいと思っております。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、日頃からのつながりと災害時の支え合いが何より大切です。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本訓練の趣旨をご理解いただき、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。

最後に、この訓練をきっかけに、災害時だけでなく日頃から顔の見える関係を深め、地域全体で安心して暮らせる棚尾地区を皆様と一緒につくっていきたいと考えております。

株式会社夢と希望の華
グループホームたなお
代表取締役 井上卓

訓 練 概 要

- ① 日 時 : 令和8年11月22日(日) 午前8時30分頃地震発生
- ② 避難場所: 棚尾小学校 体育館
- ③ 訓練想定: 令和8年11月22日(日) 南海トラフ巨大地震が発生し、碧南市では最大震度7を観測し、地震発生直後、気象庁は愛知県外海及び伊勢・三河湾に「大津波警報」を発表した。
- ④ 訓練内容: 棚尾小学校では参集した避難者でFMBの指示に従い、避難所開設のデモンストレーションを実施

避難所開設のデモンストレーションを実施中 源氏町町内会の皆様には下記の訓練と一緒にお願い致します。

- 〇〇:〇〇 「グループホームたなお」に集まって頂き、簡単な注意事項など説明
・ 声のかけ方(難聴の方への配慮等)
・ 歩く速度、車椅子を押す速度、段差の場合の注意など
- 〇〇:〇〇 町内会長さん、部長さんに担当の利用者各1名をお願いする
☆歩行が安定している方または、車椅子で全介助の方をお願いします
☆町内会の方2~3名に対し職員1名が付き一緒に避難をします
☆経路はグループホームたなお前から吉田工業工場裏を通り、
川沿いへ出て右へ曲がり、川沿いを通り公民館前の交差点へ
交差点を渡り、小学校正門から運動場を通り体育館へ
※実際の災害時は、川沿いは通らず、まずは妙福寺へ一時避難
- 〇〇:〇〇 棚尾小学校体育館まで避難したら、合同の訓練終了
☆終了後簡単なアンケートへの記入をお願いします。

令和 7 年棚尾地区防災訓練参加の様子

職員 2 名、利用者 6 名参加（車椅子 3 台使用）

※9 時 4 5 分ホーム出発し 10 時 15 分頃に体育館到着



吉田工業裏道から抜けて川浴いへ



川浴いを通して避難



小学校正門前でいったん休憩



正門の坂を地域の方に協力を頂き学校へ



運動場を通過して体育館へ



体育館へ到着



マンホールトイレなどを見学



段ボールベッドも体験させて頂きました